

# けんこう がっこう 健康だより 3月号

少しずつ暖かくなり始め、柔らかな春の日差しを感じるようになってきました。  
4月からの進級、進学に向け子どもたちのワクワクしている姿が見られます。  
病気や怪我に気を付け、残りの日々も楽しく過ごしましょう。

2月の感染症情報  
インフルエンザB型 6名  
感染性胃腸炎 3名  
コロナウイルス感染症 2名  
溶連菌感染症 2名

## ～今年度の事故報告～

今年度2月までの受診の必要があった事故は、13件でした。事故内容としては、バランスを崩して転倒した際に、頭部や歯、歯茎を打撲する怪我がありました。また、友達との関わりの中でのひっかきや噛み傷がありました。受診したケースの事故報告は川崎市にも行っています。また、事故検証と改善策を導き出し、再発防止に努めています。転倒が原因となっていたことについては、日々の保育の中で遊び方の確認をしたり、全身を動かす遊びを意識的に取り入れ、子ども達のバランスの良い体作りに取り組みました。子ども同士での関わりの中でも怪我に繋がらないよう、関わり方を子ども達と考えたり、保育士の見守り方も適切に出来るようこれからも取り組んでいきます。また、今年度は安全計画を作成し、具体的な安全教育を行っていったことで事故の予防に繋がりました。



## かふんしょう 花粉症

家に帰ってきてからすること



玄関先で服や髪に付いた花粉を払い落とし、家の中に入ってから手洗い・うがいの他、顔も洗いましょう。

最近では、子どもの花粉症が増えています。緑が豊かなのは、戸外遊びにとっても良い環境ではありますが、花粉症があると辛いですね。目の充血や痒み、鼻水などの症状が見られたら耳鼻科の受診をおすすめします。鼻づまりで眠れず、睡眠不足、目がかゆくて集中できないなど、日常生活に支障が出る場合もあるので早めの対応をしましょう。

## 《自転車の転倒事故防止について》

電動自転車はアシストが付いている分、総重量が大きくなるため、転倒事故に気を付けましょう。

・ヘルメットは必ず、子どもを自転車に乗せる前に装着しましょう。

・前の座席に子どもを乗せたまま、後ろの座席の子どもなどの乗せ下ろしをすることは大変危険です。

→子どもを前の座席に乗せた状態はとても不安定です。

前の座席での怪我は、後ろの座席の約6倍になります。

・子どもを1人乗せる場合

→1人乗せの場合は、「後ろ乗せタイプ」を選ぶとハンドルのふらつきが小さくなり望ましいです。

・子どもを2人乗せる場合

→2人乗せの場合は、「前乗せタイプ」を選び、前後に乗せる事が望ましいです。

→前乗せタイプの自転車の多くは前かがついでいないため、荷物の乗せ方にも注意が必要です。

・ブレーキの点検、保守

→幼児乗せ自転車では、前後両方のブレーキが重要です。総重量が大きく、停止する際には、前後両方のブレーキが確実に効かないと目標位置に止まらず、前方の物に衝突する恐れがあります。

※わずかな時間でも、お子さんに乗せたまま自転車から離れる事のないようにしましょう。

## 自転車に子供を乗せる時のポイント



- ヘルメットを着用
  - 1歳以上
  - 頭の大きさに合わせたものを選ぶ
- シートベルトはしっかりと締める
- 車輪は小さい方が倒れた時に足を着けやすい

